

令和3年度 食の安心安全アンケート集計結果

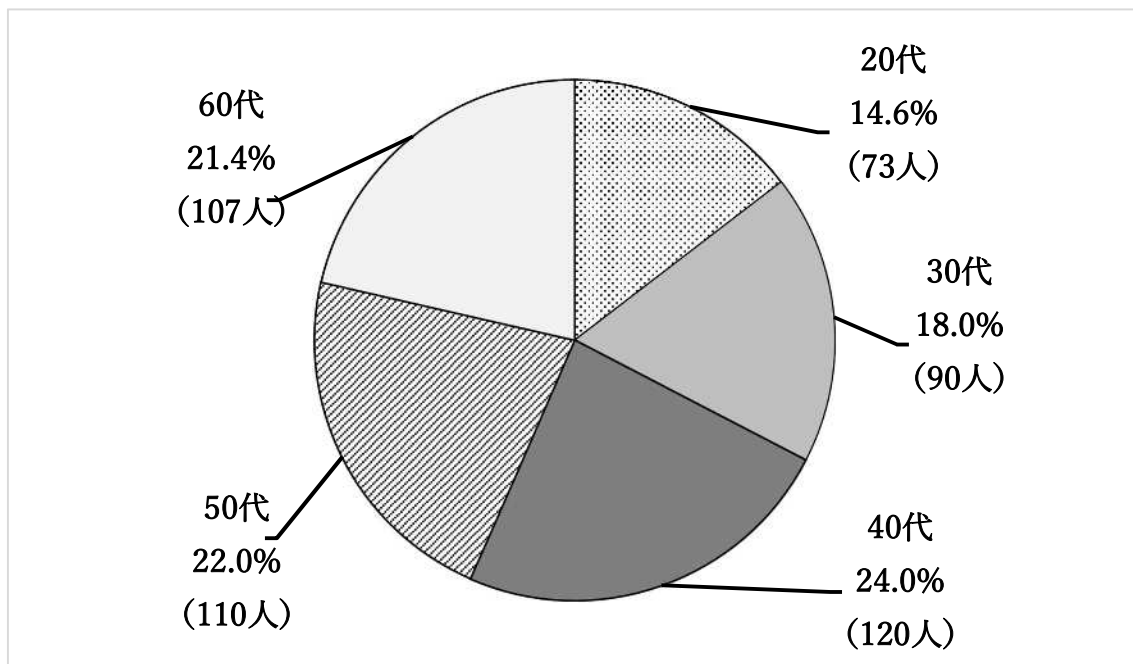
1. アンケート目的

食の安全基本方針に対する成果指標である、新潟市民における食の安心安全に関する知識の程度や取組についての認知度を把握するため。

2. 調査の設計

- (1) 調査地域 新潟市
- (2) 調査方法 新潟市内リサーチ会社に調査を委託
- (3) 標本数 500名（男女各250名）
- (4) 調査対象 満20歳以上の男女個人（リサーチ会社会員）
- (5) 調査期間 令和3年11月10日～11月18日

回答者の構成（年齢）



3. 集計結果の数字の見方

(1) 結果は百分率 (%) で表示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した結果、個々の比率が100%にならないことがある。

また、複数回答（2つ以上の回答）では、合計が100%を超える場合がある。

(2) 本文及び図表中、意味を損なわない範囲で簡略化した選択肢がある。

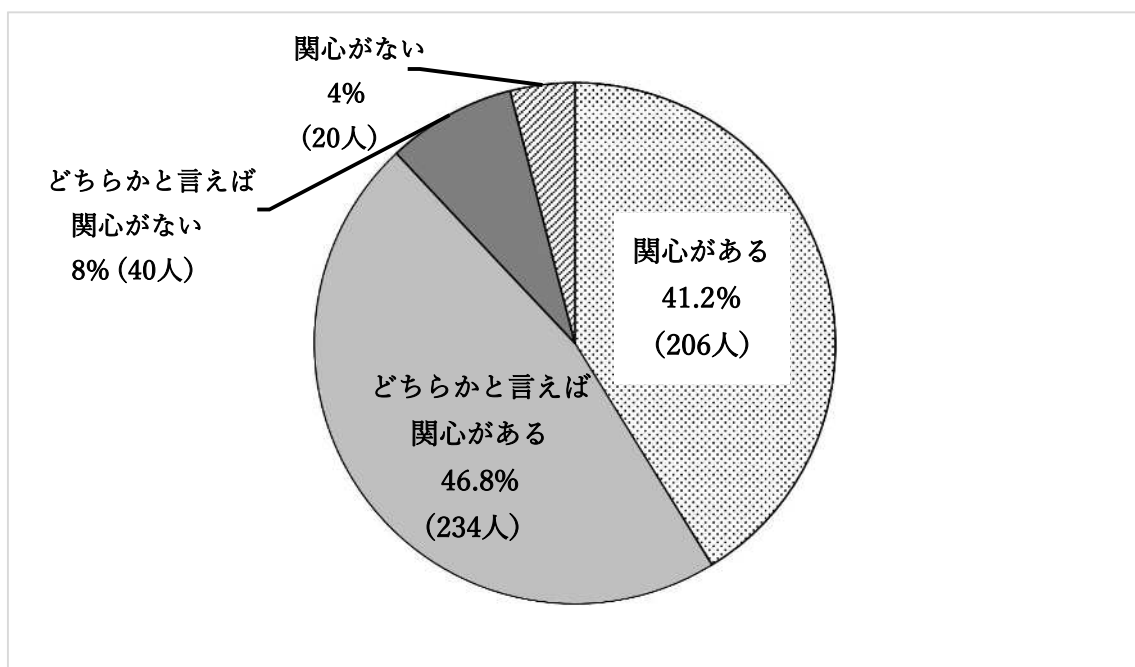
問 1. あなたは、食の安全に関心がありますか。(○は1つだけ)

9割弱が食の安全に「関心がある」と回答

「関心がある」(41.2%)、「どちらかといえば関心がある」(46.8%)と回答した人を合わせた割合は9割弱(88.0%)となっている。

一方、「関心がない」(4.0%)、どちらかといえば関心がない(8.0%)と回答した人を合わせた割合は1割強(12.0%)となっている。

図1 食の安全に関する関心度

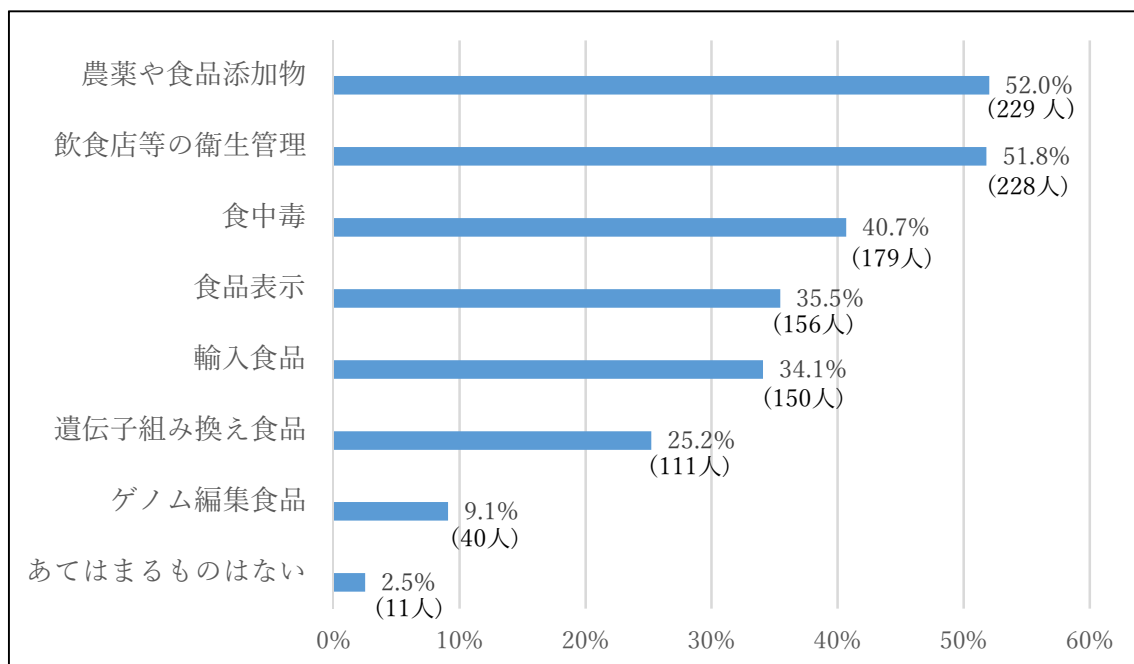


問2. どのようなことに関心がありますか。(〇は3つまで)

約5割が「農薬や食品添加物」と回答

特に関心があることについては、「農薬や食品添加物」(52.0%)と回答した人が最も多く、以下「飲食店の衛生管理」(51.8%)、「食中毒」(40.7%)、「食品表示」(35.5%)、「輸入食品」(34.1%)となっている。

図2 特に関心があること



問3. あなたは、食の安全に関してどの程度知識を持っていると思いますか。(○は1つだけ)
「食の安全に関する知識」とは、次のようなものに関する知識とお考えください。

「食の安全に関する知識」の例

- ◆ 食品表示の見方について
(消費期限や賞味期限、保存料などの食品添加物、遺伝子組換え食品、食物アレルギーなど)
- ◆ 食中毒の予防方法について
- ◆ 輸入食品について
- ◆ 健康食品について
- ◆ 衛生管理の見える化 (HACCP制度) について

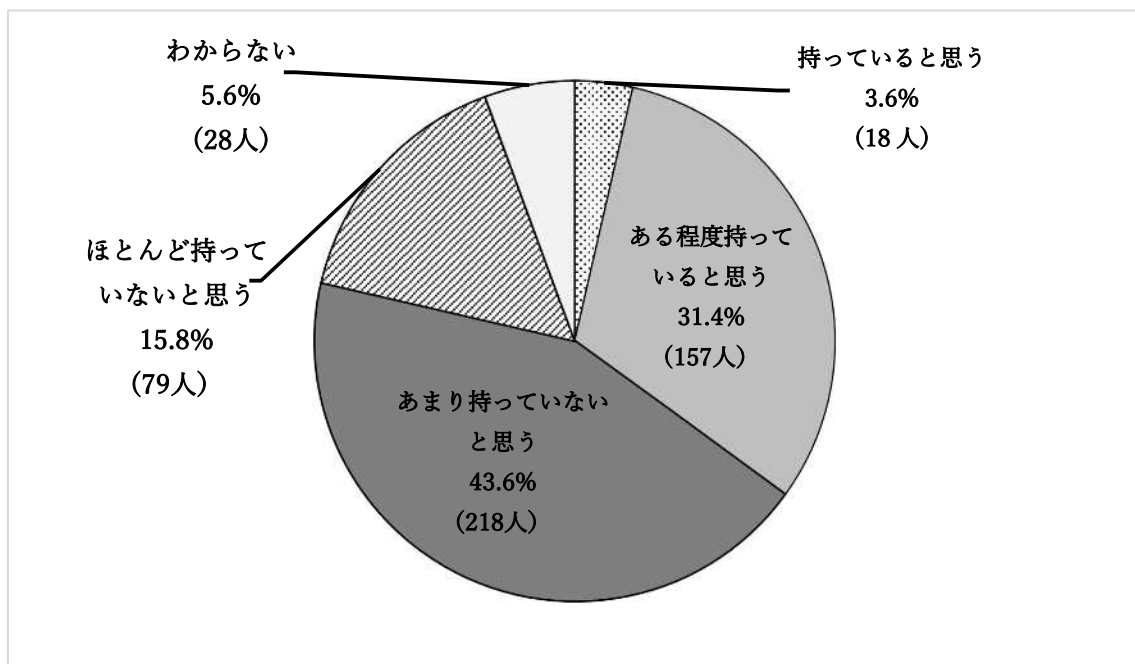
その他、農薬使用の実態やノロウイルスに関する知識など

6割弱が知識を「持っていないと思う」と回答

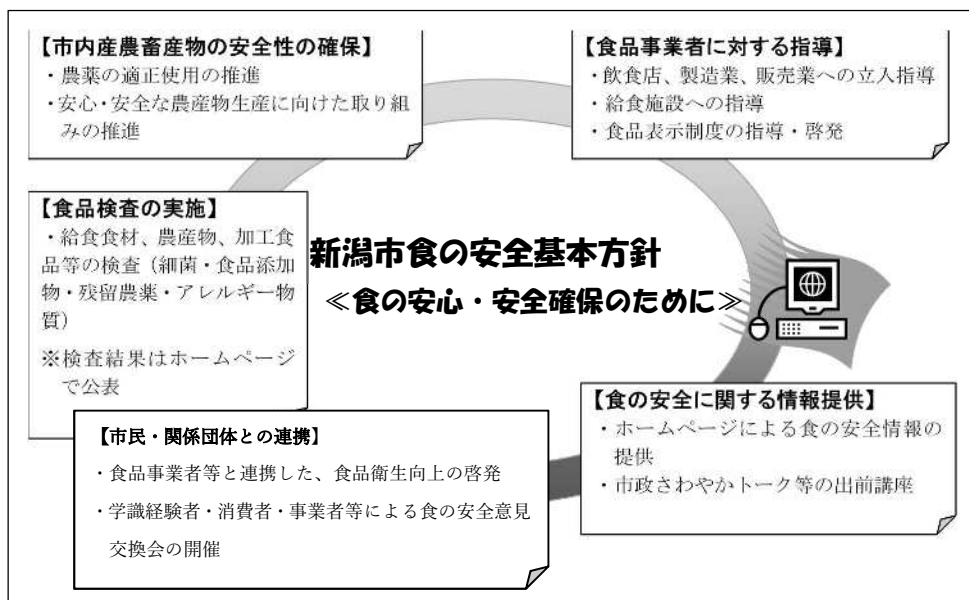
「持っていると思う」(3.6%)、「ある程度持っていると思う」(31.4%) と回答した人を合わせた割合は3割強 (35.0%) となっている。

一方、「あまり持っていないと思う」(43.6%)、「ほとんど持っていないと思う」(15.8%) と回答した人を合わせた割合は6割弱 (59.4%) となっている。

図3 食の安全に関する知識を持っている程度



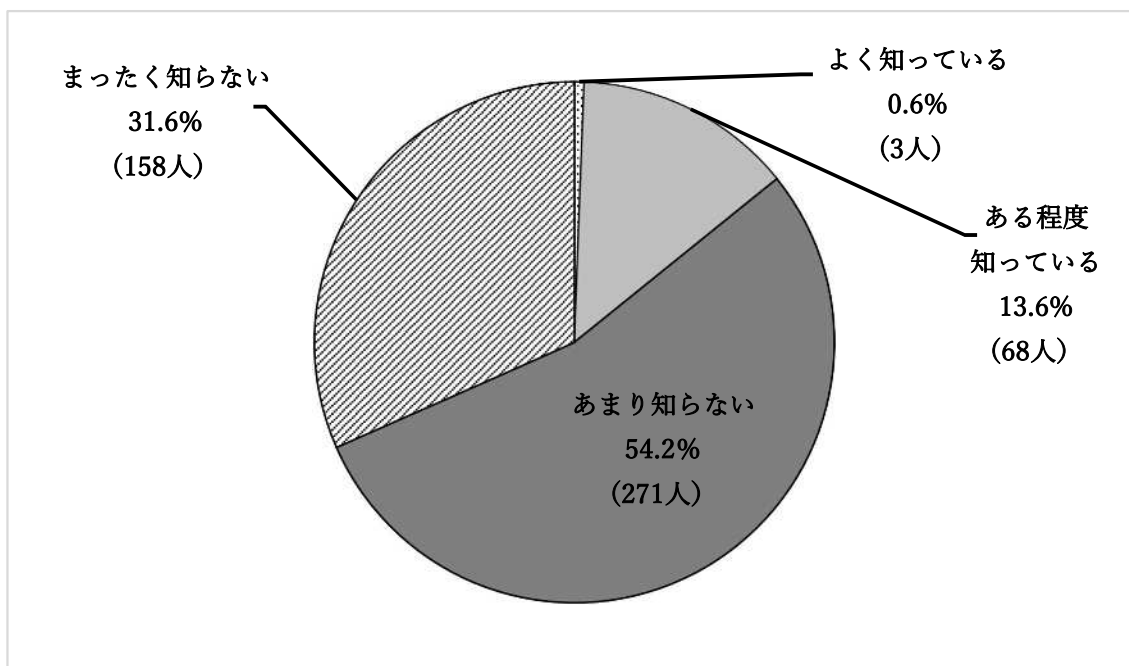
問 4. 新潟市では、「食の安全基本方針」に基づき、下記のような取組を重点的に行っていると
 ころです。あなたは、新潟市におけるこれらの食の安心安全確保の取り組みについて知っていますか。
 (○は1つだけ)



6割弱が知識を「持っていないと思う」と回答

「よく知っている」(0.6%)、「ある程度知っている」(13.6%)と回答した人を合わせた割合は1割強(14.2%)となっている。「あまり知らない」(54.2%)、「全く知らない」(31.6%)と回答した人を合わせた割合は9割弱(85.8%)となっている。

図4 食の安全に関する知識を持っている程度

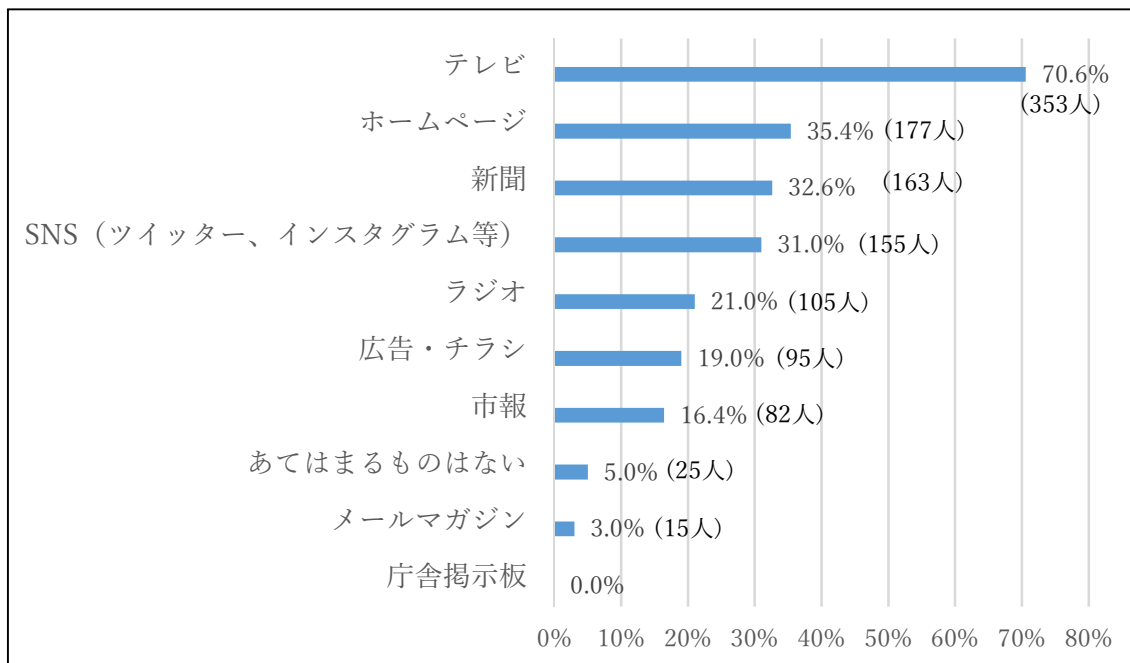


問 5. (食の情報に関わらず)あなたは普段、どのような情報ツールを用いて情報を収集していますか。または、どのような情報ツールであれば利用しやすいと感じますか。
(〇は3つまで)

約7割が利用しやすい情報ツールは「テレビ」と回答

利用しやすいと感じていることについては、「テレビ」(70.6%)と回答した人が最も多く、以下「ホームページ」(35.4%)、「新聞」(32.6%)、「SNS」(31.0%)、「ラジオ」(21.0%)となっている。

図5 利用しやすいと感じる情報ツール

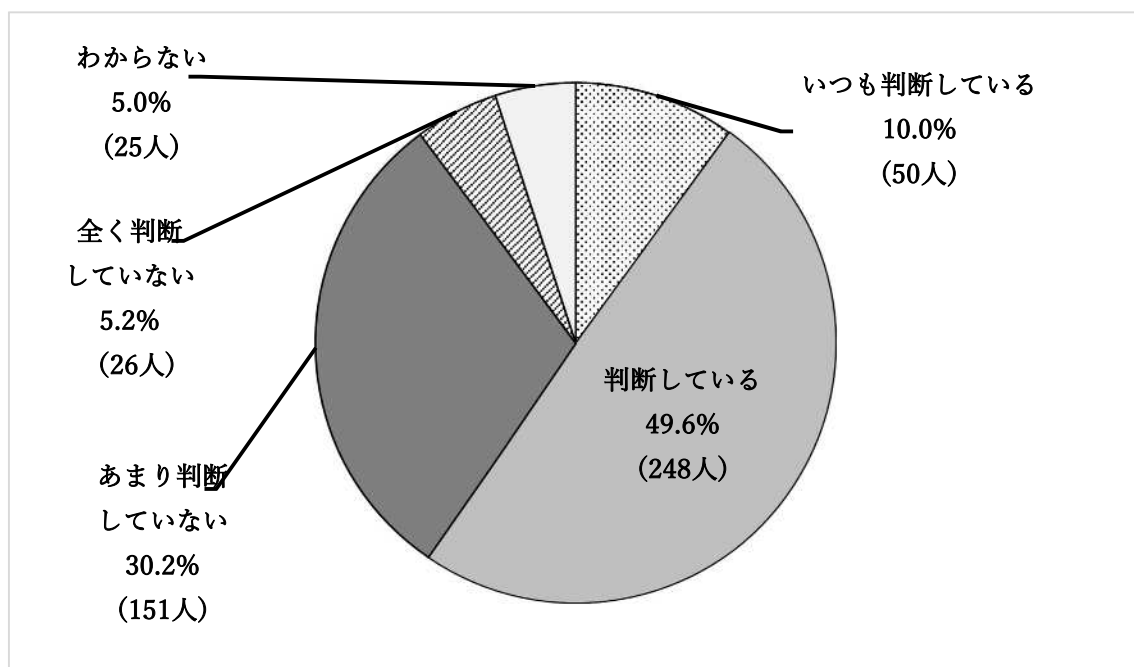


問6 あなたは、安全な食生活を送るために、自ら食品選択等の判断をしていますか。
(○は1つだけ)

約6割が「自ら食品選択等の判断をしている」と回答

「いつも判断している」(10.0%)、「判断している」(49.6%)と回答した人を合わせた割合は約6割(59.6%)となっている。「あまり判断していない」(30.2%)、「全く判断していない」(5.2%)と回答した人を合わせた割合は4割弱(35.4%)となっている。

図6 食品選択等の判断

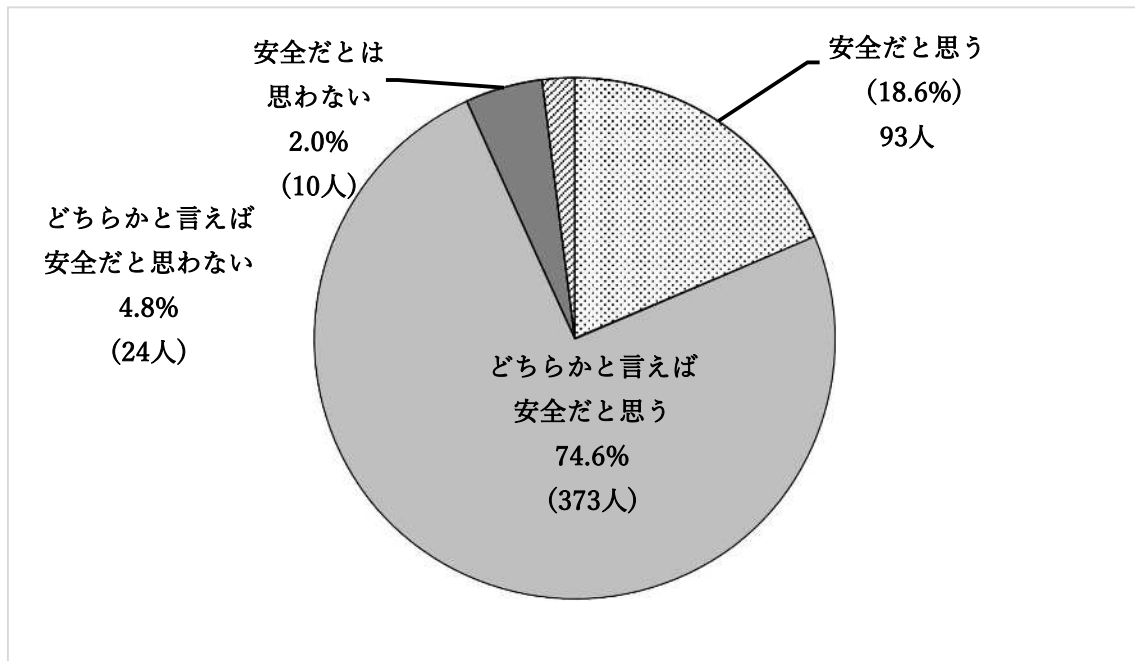


問7. あなたは、新潟市内で購入する（食べる・利用する）食品について、どのように感じていますか。（○は1つだけ）

9割強が「安全だと思う」と回答

「安全だと思う」（18.6%）、「どちらかといえば安全だと思う」（74.6%）と回答した人を合わせた割合は約9割（93.2%）となっている。「どちらかといえば安全だとは思わない」（4.8%）、「安全だとは思わない」（2.0%）と回答した人合わせた割合は1割弱（6.8%）となっている。

図7 新潟市内で購入する食品について

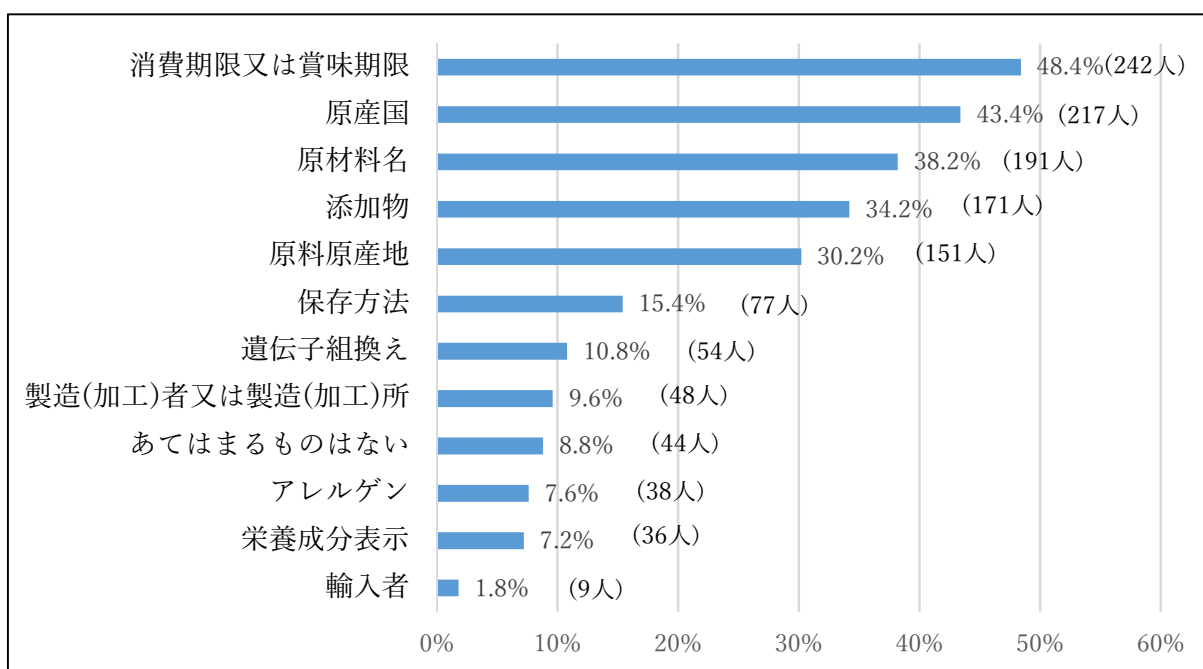


問 8. あなたは、食品を選択する際に、食品表示のどの項目を重視していますか。
(○は3つまで)

5 割弱が「消費期限または賞味期限」と回答

重視していることについては、「消費期限または賞味期限」(48.4%)と回答した人が最も多く、以下「原産国」(43.4%)、「原材料名」(38.2%)、「添加物」(34.2%)、「原料原産地」(30.2%)となっている。

図 8 重視している項目

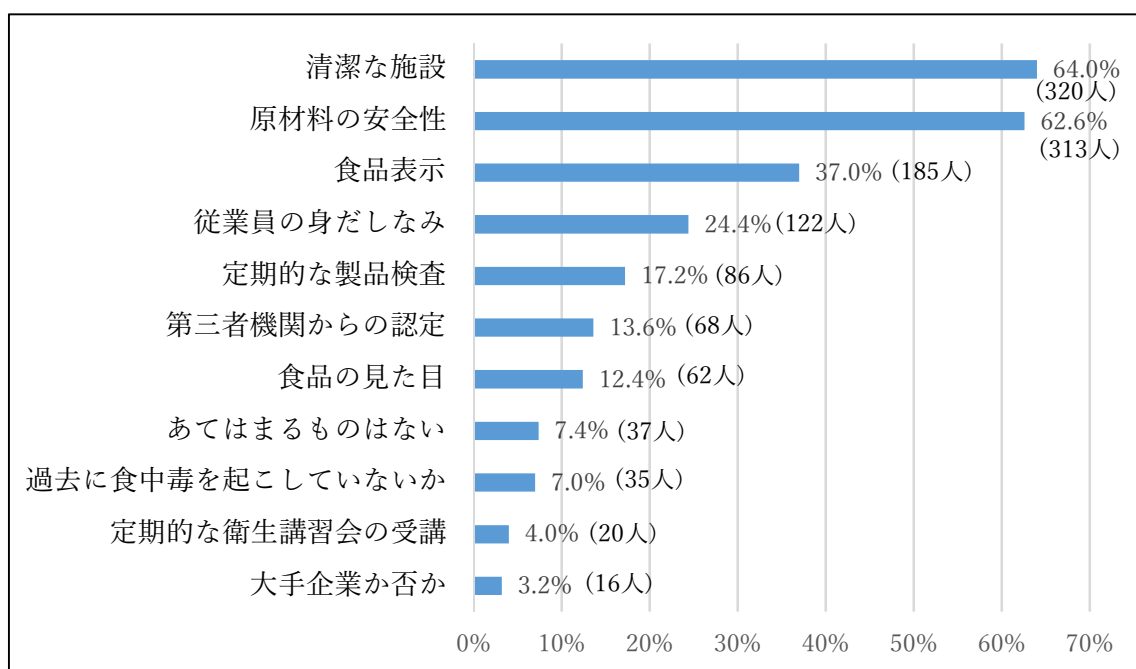


問9. あなたが安全な食生活を送るにあたって、重要と感じている項目を選択してください。(〇は3つまで)

6割強が「清潔な施設」と回答

重要と感じていることについては、「清潔な施設」(64.0%)と回答した人が最も多く、以下「原材料の安全性」(62.6%)、「食品表示」(37.0%)、「従業員の身だしなみ」(24.4%)、「営業者等が自社の製品について定期的に製品検査をしているか」(17.2%)となっている。

図9 重要と感じている項目



問 10. あなたが安全な食生活を送るために、行政に求めることはなんですか
(○は3つまで)

5割強が「監視指導の強化」と回答

重要と感じていることについては、「監視指導の強化」(53.4%)と回答した人が最も多く、以下「定期的に流通食品を検査しているか」(46.6%)、「衛生管理の見える化(ハサップ)の推進」(44.2%)、「食品衛生に関する情報提供」(37.0%)、「食品表示の監視」(31.4%)となっている。

図 10 行政に求めること

